

「輝け11 しまね町村フェスティバル」(第4回)について

H26.10.14 島根県町村会

1. 企画概要

- 趣旨 県内11町村の伝統文化・芸能、また豊かな海の幸、山の幸を紹介することにより、これまで培ってきた島根の原風景「まち・むら」の魅力・輝きを情報発信
- 主催 島根県町村会及び島根県町村議会議長会並びにTSK(実行委員会)
 - *共催 島根県 *後援 島根県教育委員会
 - *協力 島根県環境保健公社・山陰合同銀行・千里
 - *特別参加 日本赤十字社島根県支部・島根県共同募金会・島根県緑化推進委員会・島根県猟友会・島根県森林協会・島根県水産振興協会・水土里ネット島根・しまね自然と環境財団・しまね国際センター・東日本大震災松江・島根支援協議会
- 日時 平成26年10月4日(土曜)及び5日(日曜)の2日間
- 会場 松江市殿町 島根県庁前庭
- 主な事業内容
 - ・地域の伝統文化、芸能等の紹介
 - ・地域の特産品の紹介、実演、販売促進
 - ・観光、定住促進に向けた情報発信

2. 開催概要

1) 来場者数 2万2千人

- ・年次、来場者数は増加傾向(H23:11,000人→H24:18,000人→H25:19,000人)にある。特に、1日目の4日(土曜日)は台風の影響が懸念されたものの、比較的天候にも恵まれたこともあり、一日としては過去最高の13,000人の来場を記録した。この要因としては、次の点が挙げられる。
 - ① イベントとしての認知度が向上し、秋の風物詩として定着してきたこと。
 - ・開催時期の固定化 ・テレビなどによる効果的な広報
 - ② 会場が県庁前庭で交通の便がよく、また城山大茶会との相乗効果が見られ、新たな層の来場につながったこと。また、ゆるキャラ集合により、家族連れが例年以上に多数の来場があったこと。
- ・1日目の4日(土曜日)は、朝から来場者が途切れることなく一日中続いた。11時頃からは各ブースに長い行列ができはじめ、会場全体として大変な賑わいとなり、その後も、終了まで多くの来場者でにぎわった。特に、午後からは、城山方面からの来場も多く見られるようになった。
- ・2日目の5日(日曜日)は、台風の影響による荒れ模様の天気となり、午前中の来場者数はやや伸び悩んだ。しかし、天候が一時持ち直した昼前から「水森かおり島根恋旅ミニステージ」にかけては、多数の来場者があった。その後は台風の影響が少しずつ強くなり、来場者の伸びも止まり、一日来場者9,000人に留まった。
- ・昨年に続き実施した「しまねっこ」などゆるキャラ集合は、昨年以上に多くの若い家族連れの来場が見られるなど、テレビによる広報効果と相まって、効果的な企画となった。

2) ステージ関係

- ・メインステージでは、県内各地域の神楽や、本場隠岐の民謡、力強い太鼓、伝統的な踊り、また会場全体を利用した踊りなど、様々な伝統文化などが披露された。

3) 物産ブース関係

- ・県内各地域の海の幸、山の幸の出展があり、特に、試食、実演を行うブースが増加傾向にある。
- ・来場者の伸びにより、物産関係も、試食、実演コーナーを中心に、売り上げが伸び、4日は多くのブースで完売が相次いだ。また、5日は早い段階から品切れとなるブースも見られた。